

不二製油グループの 海外事業について

I. 不二製油の海外展開と取組み

II. 海外展開における課題と対応

III. 官民連携のFVC構築のための戦略において求められるもの
(本件はIIの内容をもとに追加してご説明いたします)

2014年5月15日
不二製油株式会社
グローバル戦略本部 副本部長
兼 経営企画部 部長 松本智樹

1. 不二製油について

南方系油脂、カカオ、大豆等を原料とした加工食品を扱う
中間素材メーカー。

1950年に創業した新しい会社であるが、
1970年に海外進出し、現在12か国(最新のインドは今年
工場設立)に拠点があり、75か国に製品を販売する。

■主要製品

油脂事業:

植物油脂(パーム等南方系油脂)を加工したチョコレート用油脂
等機能性油脂類

食品事業:

業務用チョコレート、植物性ホイップクリーム、マーガリン、フィリ
ング等製菓・製パン素材

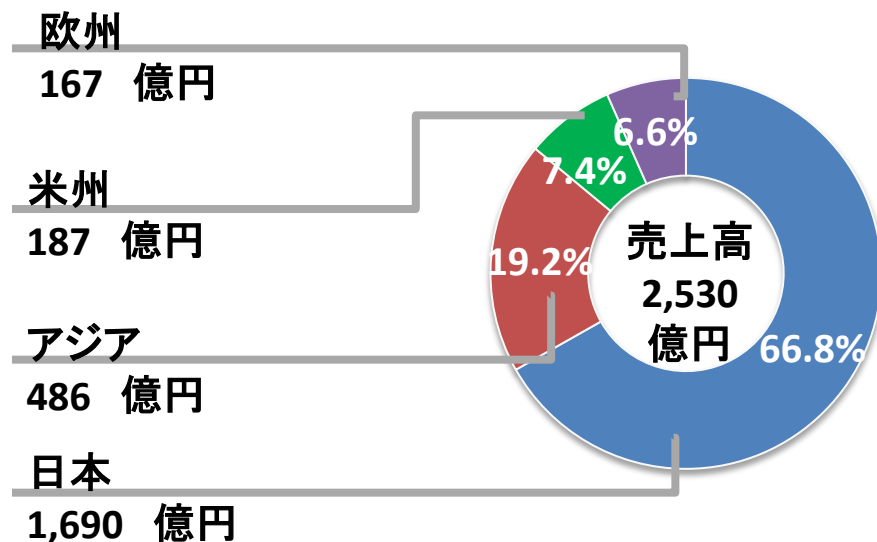
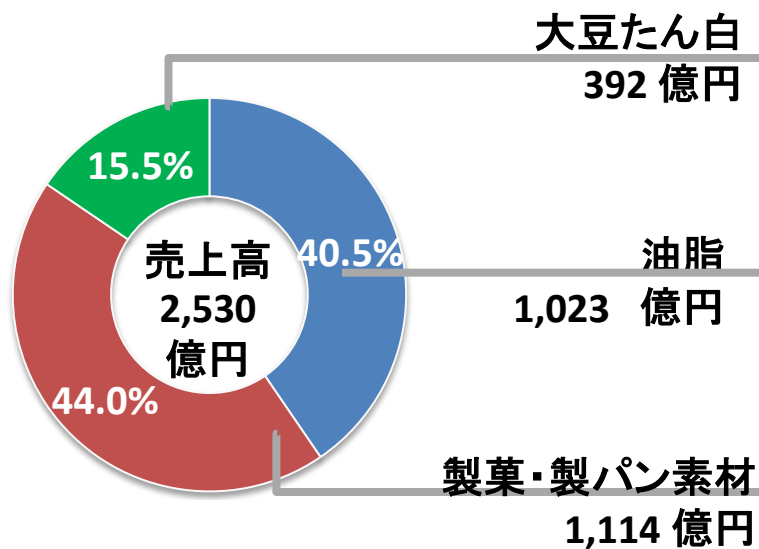
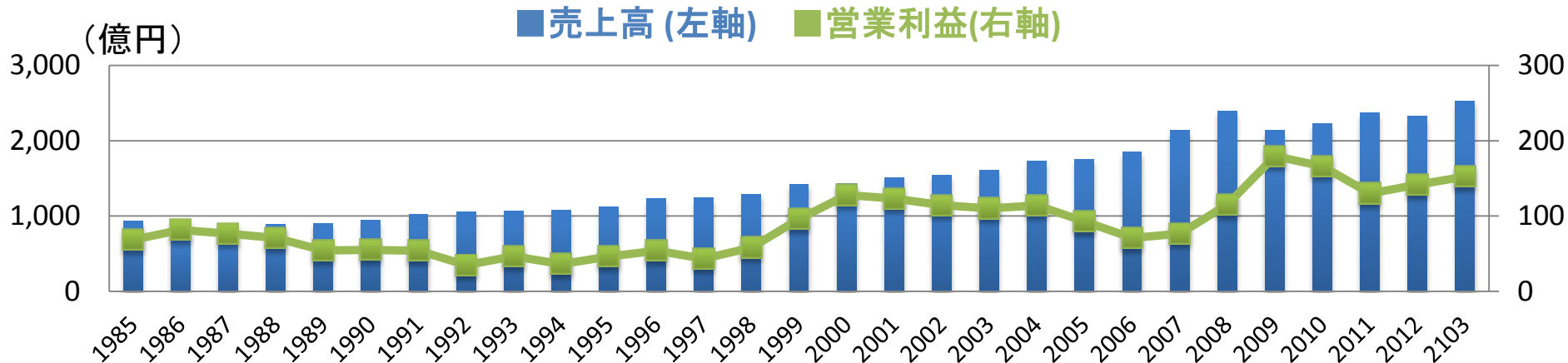
大豆事業:

大豆たん白、大豆たん白加工食品、豆乳、
USS(ウルトラソイセパレーション)製品等

■2013年実績

不二製油グループ連結: 売上高2530億円、営業利益152億円
海外売上比率: 33.2%

2. 経営指標



| エリア | 東アジア | 中近東 | 北・中米 | 南米 | 欧州 | オセアニア | アフリカ |
|------|------|-----|------|----|----|-------|------|
| 販売国数 | 17 | 12 | 5 | 7 | 21 | 3 | 10 |

3. 不二製油グループの海外展開

- 吉林不二蛋白
- 不二富吉北京科技
- 天津不二蛋白
- 山東龍藤不二食品
- 不二製油(張家港)
- 上海旭洋綠色食品
- 深圳旭洋綠色食品

中国 (7)

- Fuji Oil Europe(ベルギー)

欧州 (1)

アフリカ (1)

- International Oils & Fats(ガーナ)

インド (1)

- 3F Fuji Food Private Limited

■ 油脂・加工食品

■ 大豆たん白

- 不二製油

- トーラク

- フジフレッシュフーズ

- フジサニーフーズ

- エフアンドエフ

- オーム乳業

- 阪南タンクターミナル

- 千葉ベグオイルタンクターミナル

日本(7)

- Fuji Vegetable Oil(USA)

米州 (2)

- Fuji Oil South America (ブラジル)

ASEAN (8)

- Palmaju Edible Oil

- Fuji Oil Singapore

- Woodlands Sunny Foods

- Fuji Oil Asia

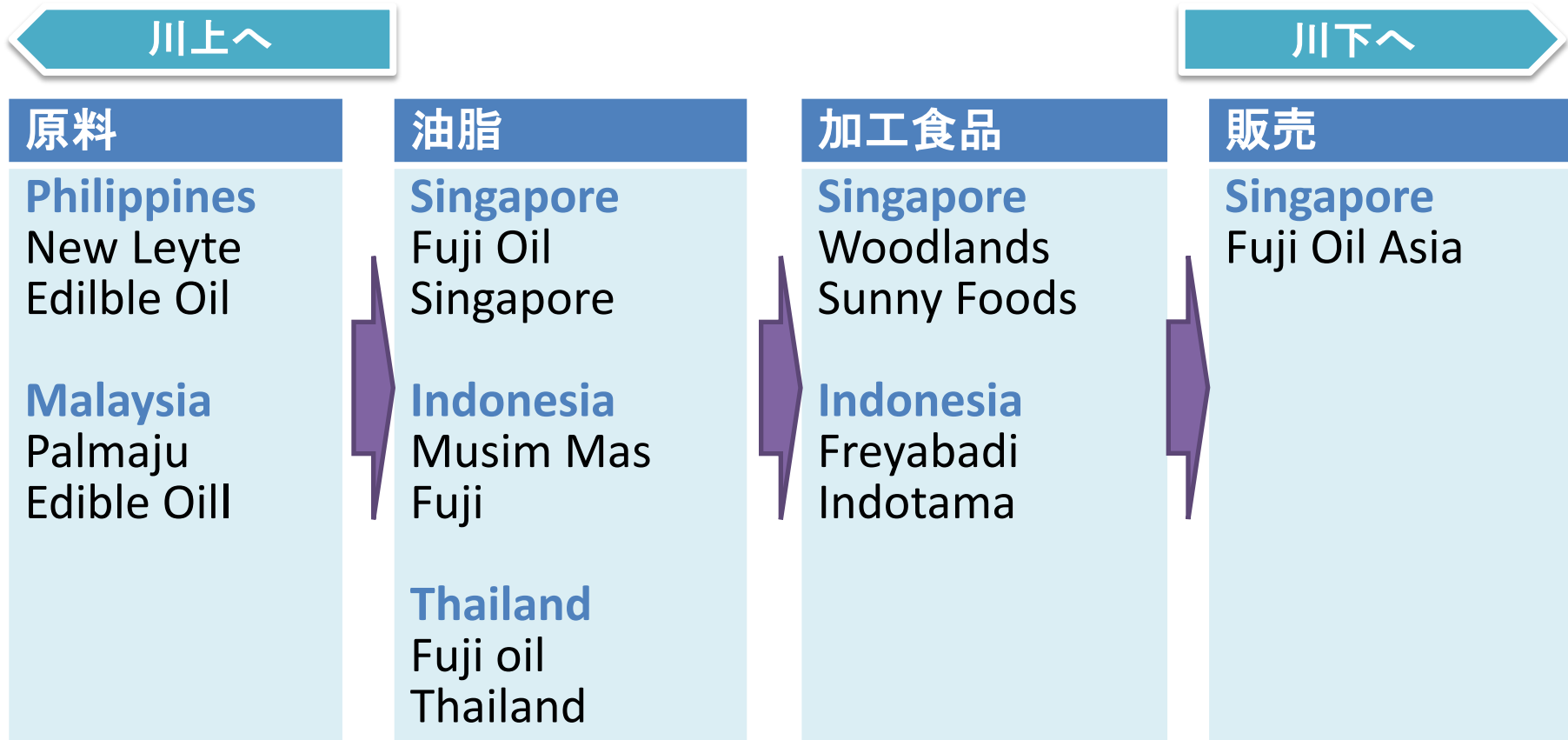
- Fuji Oil Thailand

- New Leyte Edible Oil

- Musim Mas-Fuji

- Frayabadi Indotama

4. アセアン内では独自にバリューチェーン構築



II. 海外展開における課題と対応

1. 事業関連課題

| | | ①ASEAN | ②中国 | ③インド | ④中東 | ⑤中南米 | ⑥アフリカ | ⑦ロシア・中央アジア |
|----------|-----------|--|-----|------|-----|------|-------|------------|
| 原料 | | ①環境意識の高まり（主にパーム）…欧米系の団体中心に年々動きが活発化。国の法制度等以上に厳しいルールで、取り扱い企業はそのルールに準じることで原料確保によるコストアップ等が生じている。 | | | | | | |
| 事業 | 物流 | ①（インドネシア）新興国の高度成長に伴い、道路はあるものの量的に不十分な状況 ⑥（ガーナ）道路等の整備不十分 | | | | | | |
| | 生産 | ①（特にシンガポール）インフラ、エネルギーコスト高 ⑥（ガーナ）水道、電気等の整備不十分 | | | | | | |
| | 品質管理 | ・国際標準との差異（日本だけが異なる場合も散見される） | | | | | | |
| 拠点 事情 | 地理的事 象 | ①（フィリピン等）自然災害 | | | | | | |



←フィリピン ニューレイテエディブルオイル社
写真はフィリピン台風以前のもの

フィリピン台風ハイエンでの被災
油脂加工業では、原料供給国へ進出し、
かつ港湾部に位置するため、
自然災害のリスクが高い

4. 政治経済環境課題

| | ①ASEAN | ②中国 | ③インド | ④中東 | ⑤中南米 | ⑥アフリカ | ⑦ロシア・中央アジア |
|----------|---|-----|------|-----|------|-------|------------|
| 体制 | ②日中関係悪化（他にもカントリーリスク多数） ⑦（ロシア）米露関係悪化による日露関係不安 | | | | | | |
| 財政政策 | ①②外資・内資の扱いの違い 外資規制（基幹産業である食品産業は制限業種にあたる場合が多い） →一般的食品産業は国内産業保護から排除の動きあり、より高付加価値化した製品で市場開拓する必要がある | | | | | | |
| 政治 経済 | 法規性 ・許認可事務手続きの長期化 ③（インド）どの法制度も不明瞭であることが多い ⑦（ロシア）CODEX以外に欧米の保守的なルールが強力にあり、アジアからの新規事業進出が厳しい | | | | | | |
| 金融 | ・通貨安、高金利 | | | | | | |
| 税制 | ・TPP等関税 ・最近の新興国では第3国経由での支援の枠組み ①国内産業の保護により食品分野の主要製品の関税率がかなり高い ③⑤（ブラジル）国内税制が非常に複雑・申請に長時間を要する | | | | | | |

3. 社会環境課題

| | ①ASEAN | ②中国 | ③インド | ④中東 | ⑤中南米 | ⑥アフリカ | ⑦ロシア・中央アジア |
|----|--------|-----|--------------------|-----|------|-------|------------|
| 治安 | | | ③駐在邦人少なく生活不安、テロ不安 | | | | |
| 宗教 | | | ・ハラール対応、コーシャー対応 | | | | |
| 社会 | 知的財産 | | ②技術・営業情報漏えい、模造商品製造 | | | | |
| | 労働事情 | | ①（インドネシア等）労働争議 | | | | |
| | 人件費 | | ①②賃金高騰、人材流出 | | | | |
| | 対日感情 | | ②ネガティブキャンペーン、反日デモ | | | | |



←インドネシア
フレシアバディ インドタマ社

インドネシア
労働争議で工場は操業停止に至ることがある